

2023年度 北海道レフェリーアカデミー第3回 事業報告

報告者：高須賀哲平（旭川）

【日時】2023年5月13日（土）、5月14日（日）

【場所】芦別なまこ山総合公園競技場、SSAP 多目的室、SSAP 屋内競技場

【参加者】審判員：高須賀哲平、丑屋幸大、及川凌夢、岩本駿士

インストラクター：古曾部統太郎氏（RAM）、今川一輔氏（RAI）、伊藤真也氏（RAI）、岡田渉氏（RAI）

オブザーバー：山崎裕彦氏（RD0）、北空知地区・空知地区審判員

【研修テーマ】鍛える

5月13日（土）

09:30 集合 @芦別なまこ山総合公園球技場

10:50 試合実践① 2023 U18 道央ブロックリーグI部

（副審、4審は北空知地区・空知地区審判員に担当していただきました。）

北照高校 vs 恵庭南高校 主審：高須賀 担当 INS：岡田氏

〈自己分析〉

今回の試合は、自分がほとんど登場することがない試合でファールが少なかったが、一貫した基準で試合を終えることができました。73分恵庭南77番アフターチャージは、ボールにプレーできる可能性が低かったが勢いはないため、警告ではなく注意で済ませた。7分に自分にボールが当たった際は、体を回して視野を確保するのではなく、トランジションが起きた時点でレフェリーサイドに幅を持たせるか前に抜けてしまえばよかった。



〈INS分析〉

73分恵庭南77番のタックルによるマネジメントは良かったが、最初にかけての言葉が『来て！』であり、この試合ではマッチしていたが、カテゴリーが変わってくれば、来ないで逃げる選手もいることを認識して対応のバリエーションを身に付けて欲しい。この試合に関してスピード感や運動量については、申し分ないものだと考えているが、アシスタントサイドに近づくことによるメリット・デメリットを意識しながら今後はポジショニングを決めて欲しい。

滝川西高校 vs 小樽潮陵高校 主審：丑屋 担当 INS：今川氏

〈自己分析〉

8分、43分、54分、60分、78分と良いスプリントができた。8分は良いスタートをきれたと感じている。一方、FK時のマネジメントは改善が必要だと感じた。64分のFKでは、ボールの監視をせずに壁のコントロールを行っていた。ボールを監視しつつ壁のコントロールができるようなマネジメントを、試合後に実践したスモールプラクティカルを参考に考えたい。

〈INS 分析〉

スプリント力は丑屋さんの魅力です。今後も持続して下さい。47分レフェリースイドで行われたCK時のボール監視、64分FK時のボール監視など、今後は主審が行うべきこと、監視すべきことをしっかり行ってください。

13:00 試合実践② 2023 U18 道央ブロックリーグ2部

(副審、4審は北空知地区・空知地区審判員に担当していただきました。)

北照高校2nd vs 恵庭南高校2nd 主審：及川 担当INS：今川氏

〈自己分析〉

判定は一貫していたと思います。79分、ペナルティーアーク付近で、恵庭南4番がドリブルでゴール方向に向かっていて北照30番に対して後方からトリップをし、相手競技者の決定的な得点の機会を阻止(DOGSO)したためレッドカードを提示し退場を命じましたが、映像を見返してもこの判定は妥当だと思いました。79分の退場のシーンは何か起こるかもしれないと予測して10~15mの距離といい角度で見ることができたから、いい決断ができて、いい判定につながったと思います。

〈INS 分析〉

概ね判定基準は一貫性があり安定していた。特に79分恵庭南4番の退場については、DOGSOの4要件を理解した上での判定判断は受け入れられる事象であり、また勇気ある判断でした。前回より幅を持たせたポジショニングに努めていた。しかしながら、PA内の判定のためのポジションについてはまだ甘い部分もあるので、動き出しの速さとスプリントを使いつつPA内の事象を15m位で判定してほしい。

滝川西高校2nd vs 岩見沢東高校 主審：岩本 担当INS：古曾部氏



〈自己分析〉

23分岩東競技者に強く注意をしたが、適切に対処できたのではないかと感じる。試合中には意識していなかったが岩東競技者がその後ファウルをしなかったことを考えると、1回の注意がその後のゲーム展開にどのような影響・効果を与えるのかについても今後考えていきたい。外側に開かず内側にポジションを取ってしまった結果、副審のフラッグアップへの反応が遅れたことがあったため、受け手の動きなどを見て外側に走るよう次回以降努めたい。

〈INS 分析〉

振り返りでお伝えしたとおり、23分は素晴らしいマネジメントでした。負傷者対応も真摯で素早く、信頼のおける態度でした。副審のシグナルへの気付きが遅れた事象が5分、40分と2回ありました。しかしながら、副審を確認する癖がつけば、仮にポジションがうまくいかない時でもシグナルに気づくことができるはずです。気付き、意識の問題でもあります。スプリント力、真摯さ、学んだことをすぐ実践しようとする謙虚さ、と岩本さんの良いところが多くみられた試合でした。

15:00 振り返り

15:45 諸連絡・解散

20:00 強化指定研修会 T2 グループ WEB 研修会

5月14日(日)

09:20 集合 @SSAP 多目的室

09:30 前日の振り返り

この振り返りでは、前日の及川が担当した試合で起きた DOGS0 の事象を映像で振り返りました。

10:00 栄養講習「レフェリーのためのスポーツ栄養学」

講師：株式会社明治 垂石 様

アスリートでもあるレフェリーのコンディショニング調整はとても重要です。運動によって傷ついた筋肉を食事の質を求めつつも休養を入れることによって修復されることを繰り返して体が強くなっていく「超回復」というものをうまくコントロールすることが、良いトレーニングにつながることを学びました。さらに、審判後になるべく早いタイミングで栄養補給を行うことによって素早い疲労回復に繋がるということも学びました。栄養と休養のバランス、壊れない体づくりの重要性を再確認することができ、日常の食生活から改善に努めていこうと思いました。



11:40 フィジカルトレーニング @SSAP 屋内競技場

スプリントトレーニング&スピードトレーニングをテーマとして、縄跳びやゴムチューブなどを使ってスプリントトレーニングを行い、また、ランニングフォームを意識しながら、実践的な走りで心拍数も175~190まで上がるような高負荷のスピードトレーニングを行いました。



13:00 昼食・移動 @SSAP 多目的室

13:40 フィジカル講義「Sprint Ability improvement」

本講義では、先程行ったトレーニングを思い返ししながら、正しい姿勢や地面の力（反発力）がどのようにスプリントに繋がっていたのか、良いランニングフォームとはどういうことなのかをさらに深く理解することができました。

14:40 競技規則講義

本講義では、「動きとポジショニング」をテーマに行いました。ポジションを決めるための7つの原則や監視すべき6つの事柄、またそこから得る情報は何かなどを学びました。さらに良いポジションをとるために必要な知識や技術を再確認し、次のレフェリングに繋がる講義となりました。

15:50 諸連絡・解散

I ポジションを決めるための原則

1. 対角線式審判法（基本的なポジション）
2. 適切な距離（距離）
3. 的確なアングル（角度）
4. 選手の動きやパスコースの邪魔にならない
5. 次の展開を考慮に入れた位置
6. 出来るだけ広い視野が保てる
7. 然るべき時に、然るべき場所に

II 監視すべき6つの事柄

- | | |
|--------------------|-------------|
| ①自分の位置 | 常に |
| ②守備者の位置 | ボールから目が離せる時 |
| ③攻撃者の位置 | ボールから目が離せる時 |
| ④ボールの位置とボールホルダーの状況 | 常に |
| ⑤スペース | ボールから目が離せる時 |
| ⑥副審の位置 | ボールから目が離せる時 |